

MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較 (2)
～Community-Based Organizationによる HIV 予防啓発活動のプログラム評価～

研究分担者：本間隆之（山梨県立大学看護学部 講師）、金子典代（名古屋市立大学看護学部）
研究協力者：荒木順子（公益財団法人エイズ予防財団/特定非営利活動法人 akta）、岩橋恒太（特定非営利活動法人 akta）、佐久間久弘、木南拓也（公益財団法人エイズ予防財団/特定非営利活動法人 akta）、柴田恵、阿部甚兵、大島岳（特定非営利活動法人 akta）、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

本研究班では、平成 23 年度から 3 年にかけて各地域の MSM の予防行動の実態把握とゲイ CBO が実施する介入評価のためのインターネット横断調査システムである Gay Community based Quest (以下、GCQ アンケートと表記)を開発するとともに、Community-Based Organization (CBO) が実施しているアウトリーチ活動を、プログラムとして記述することにより評価軸を検討してきた。

本年度は、新宿二丁目のある首都圏地域において、20 代を中心とする若年ゲイバー顧客の HIV 感染予防行動の実態、地域間移動と移動先での性行動の実態を明らかにするとともに、CBO による HIV 予防啓発プログラムの認知と受け入れ、コミュニティ感覚に関する評価を、GCQ アンケートシステムを用いて実施した。新宿二丁目の CBO である akta がアウトリーチにより関係性が構築できている介入店舗利用者の回答と、現在までアウトリーチを実施していない店舗利用者の回答を比較した。HIV 感染予防行動に有意な差はみられなかったが、友達や知り合いに HIV に感染している人がいるかという認知、コミュニティに関する安心感や愛着といったコミュニティ感覚に有意差が見られた。

A. 研究目的

これまでのロジックモデルを活用したプログラム評価研究から、CBO は新宿二丁目を中心としたゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、HIV/AIDS の予防啓発情報（メッセージ）を伝えるために、新宿二丁目の文化や価値観を尊重し、自分たちと同じ仲間による活動だと感じてもらうことによって、“ピア性”のあるメッセージが受け入れられるというモデルを基に活動を展開していることが明らかになっている。

本研究ではプログラム評価の成果に基づき、若年ゲイバー顧客の HIV 感染予防行動の

実態、地域間移動と移動先での性行動の実態、CBO が想定する予防啓発メッセージが伝わる基盤となる「文化や価値観の尊重」及び「コミュニティ感覚」というコンセプトが、CBO が介入している対象に存在するか、存在するとすればどの程度かを確認することを目的として調査を実施した。

B. 研究方法

調査実施

CBO の介入地域である新宿二丁目の商業施設を利用するゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、オンラインで回答する質問票調査を

行った。参加者のリクルートは、協力が得られた店舗において、調査実施を告知するポスターを掲示するとともに、調査サイトへのリンクである QR コードを記したカードを配布した。調査サイトへのリンクはカードにのみ記載し、インターネット等でリンクを掲示し参加者を募集することは行わなかった。配布した店舗は、これまで CBO によるアウトリーチ活動で啓発資材等を配布していた店舗のうち、若い人が多く利用する店舗とした（介入実施店舗）。さらに、これまで CBO によるアウトリーチを行っていない店舗 2 店に対して、今回初めて調査ポスターとカード配布への協力を依頼して配布を行った（介入未実施店舗）。調査期間の終盤には、回答参加者を増やすためにアウトリーチ実施店舗において、CBO スタッフや店舗スタッフが店舗利用者に対してカードを手渡し、調査参加の呼びかけを行った。

回答は対象が保有する携帯端末等からインターネット上の質問サイトへアクセスしてもらい、回答するものとし、トップページにおいて回答することにより調査趣旨を理解し、参加することに同意したものとみなす旨、説明を行った。調査期間は平成 27 年 2 月から 3 月末とした。なお、本研究の研究計画については名古屋市立大学看護学部倫理委員会より承認を得て実施した（承認番号 14025-2）。

質問項目

年齢、新宿二丁目を訪れる頻度、HIV 感染予防行動、地域間移動と移動先での性行動、CBO による HIV 予防啓発プログラムの認知と受け入れ、新宿二丁目に対する愛着などを含むコミュニティ感覚に関して、選択形式で尋ねた。

分析方法

質問項目ごとに記述集計を行った。介入実施店舗の回答者群と未介入店舗の回答者群に

分け、割合をカイ二乗検定で比較した。検定の実施にあたっては適宜多肢選択を 2 区分することによって、検定を行った。

C. 研究結果

調査参加者の属性

調査参加者は 20 歳代が 64.9%であり、20 歳代を中心とした調査目的に沿った参加者であった。CBO の介入地域である新宿二丁目を訪れる頻度は、月に 1 回以下が 26.4%であるのに対して、1 週間に一回程度以上訪れると回答した人は 57.4%と半数以上が比較的頻回に当該地域を訪れていることが分かった。過去 6 か月以内に利用した施設は、調査サイトであったバーの他には、ゲイ向け出会いアプリ（71.6%）を利用している人が多くいる。また、男性限定のクラブ（38.5%）や有料のハッテン場（31.1%）の利用は 4 割以下であり、商業施設の種類によって利用者の特性が異なる可能性があり、調査実施サイトによって調査参加者の特性が異なることが推察される。

HIV 感染予防行動

生涯の HIV 抗体検査受検割合は 75.7%、過去 1 年間の同受検割合は 54.1%であった。過去 1 年間に受検した場所は、保健所（51.3%）が最も多かった。今回の調査では郵送検査を利用した人はいなかった。

一番最近のセックスをする前に、コンドームを使いたいと思っていた（55.4%）、相手とコンドーム使用について意思を確認した（54.1%）、アナルセックスでコンドームを使った（58.1%）と 5 割強の人が、コンドームを使った予防行動に積極的な認知を持ち、行動をしていた。

地域間移動と移動先での性行動

国内や海外の旅行先でセックス相手と出会うために使用したものでは、ゲイ向けアプリ

が56.8%、男性限定のバーが35.1%であった。

一方、海外の旅行先でコンドームを使わないアナルセックスをしたことがある人は6.8%であった。

CBO 活動の認知

首都圏における CBO の活動拠点であるコミュニティセンター akta という場所を知っている人は66.9%と多くの人を知っているが、行ったことがある人は全体の44.6%であった。

akta が実施した「Safer Sex キャンペーン」のポスター画像を提示し、見たことがあるか尋ねたところ、見たことがあると回答した人は45.9%と半数以下であった。

akta が月刊で発行しているフリーペーパー akta monthly paper を読んだことがある人は56.1%である一方で、見かけたことはあるが読んだことはない人も14.9%いた。

CBO 活動の受け入れ

「そう思う」と「ややそう思う」を合計すると、akta の活動は、特別な人がやっているのではなく自分の仲間がやっている活動だと感じる(54.1%)、akta のメッセージは自分へのメッセージだと感じる(48.0%)、akta のメッセージは HIV や性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる(53.4%)、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしている(60.1%)とおおむね半数近くは、akta の活動コンセプトの通りに認知しており、akta の活動に共感する(60.8%)という状況であった。

新宿二丁目に対するコミュニティ感覚

新宿二丁目というコミュニティを仮定して、コミュニティ意識を尋ねたところ、「そう思う」と「ややそう思う」を合計すると、安心感のようなものを感じる(68.2%)、誇りや愛着のようなものを感じる(61.5%)、ここで

しか得られないものがあると思う(79.1%)のように感じており、コミュニティを基盤とした介入の有効性の前提となるコミュニティ感覚があることが確認された。

さらに、新宿二丁目のために何かできることがあれば参加したい(63.5%)、HIV や性感染症の予防活動に、何らかの形で参加や協力をしたいと思う(55.4%)、新宿二丁目には HIV や性感染症の予防活動は必要だと思う(85.8%)と、新宿二丁目というコミュニティに対する貢献したいという思いや、HIV 及び性感染症の予防に対する思いを持っていることが明らかとなった。

介入店舗利用客と未介入店舗利用客の比較

akta によるアウトリーチを実施している店舗を利用していた回答者と、アウトリーチ未実施の店舗を利用していた回答者を比較した。

アウトリーチ実施店舗では、友達や知り合いに HIV に感染している人がいるあるいはいると思うと回答した人が70.7%と有意に多かった($p=0.005$)。

予防行動では、HIV 抗体検査の生涯受検経験および過去1年の受検経験ともに有意差は見られなかった。コンドームの使用意図及び行動に関しても、有意差は見られなかった。

コミュニティセンター akta に行ったことがある人は、介入店舗群が52.6%に対して未介入店舗群では15.6%と介入店舗群での認知が有意に高かった($p<0.001$)。同様に Safer Sex キャンペーンの認知も53.4%に対して18.8%と介入店舗群で有意に高かった。

akta の活動に対する受け入れでは、「新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしている」のみが36.2%に対して21.9%と介入店舗群で有意に高かった($p=0.011$)。

新宿二丁目に対するコミュニティ意識では、安心感のようなものを感じる($p=0.038$)、誇りとか愛着のようなものを感じる($p=0.020$)、

新宿二丁目でしか得られないものがあると思う ($p < 0.001$) が、いずれも介入店舗群で有意に高い結果であった。HIV について話をすることへのタブー感は有意差が見られなかった。

D. 考察

アウトリーチ活動のプログラム評価を実施し、活動をモデル化した研究の結果を活用し、測定項目を起案することによって、コミュニティを基盤とした活動をアウトカム評価だけによらないプロセス評価を実現することが可能になった。また、CBO がアウトリーチしているゲイバーに加え、これまでにアウトリーチ活動を行っていない店舗の協力を得ることが出来、介入実施店舗と介入未実施店舗の利用者を比較することが可能となった。

調査参加者の属性

調査参加者は 20 歳代が 64.9%であり、20 歳代を中心とした調査目的に沿った参加者であった若い層をとらえることができた。過去 6 か月以内に利用した施設では、男性限定のクラブ(38.5%)や有料のハッテン場(31.1%)の利用は 4 割以下であり、商業施設の種類によって異なる利用者の特性や価値観に合わせた介入を展開する必要性が示唆された。

新宿二丁目に対するコミュニティ感覚

CBO が介入の基盤とする新宿二丁目というコミュニティに関するコミュニティ意識を尋ねたところ、安心感のようなものを感じる(68.3%)、ほこりや愛着のようなものを感じる(61.5%)、ここでしか得られないものがあると思う(79.1%)と感じている人が多くおり、新宿二丁目という一つのコミュニティを持っていることがわかった。

これにより、コミュニティをより良くしたい大切にしたいという意識のもと、仲間に対する信頼や価値観に基づき CBO がそのコミュニティの一員としてふるまうことにより信頼

を得て、公共的な目的での活動を支援する感情が起こると考えられる。CBO がアウトリーチ活動を行っている店舗と未実施店舗の間では、コミュニティセンターakta の認知や啓発資料の認知、Web サイトの認知に有意な差が見られ、また友人・知人に HIV 陽性者がいるの回答も有意な差異が見られ、前者が高い結果であった。

しかし、新宿二丁目のために何かできることがあれば参加したい、HIV や性感染症の予防活動に、何らかの形で参加や協力をしたいと思う、新宿二丁目 HIV や性感染症の予防活動は必要だと思うといった、態度に関する質問について、介入実施店舗と未実施店舗の利用者の回答に有意差は認められなかった。今回の調査では、協力が得られた未実施店舗は 2 店舗で、そのため調査参加者数が少なかった。今後、サンプルサイズを増やす工夫をして、検証を重ねる必要がある。

E. 結論

新宿二丁目のある首都圏地域において、20 代を中心とする若年ゲイバー顧客を対象に、HIV 感染予防行動、地域間移動と移動先での性行動、CBO による HIV 予防啓発プログラムの認知と受け入れ、コミュニティ感覚に関する評価を、GCQ アンケートシステムを用いて実施した。

新宿二丁目の CBO である akta がアウトリーチにより関係性が構築できている介入店舗利用者の回答と、現在までアウトリーチを実施していない店舗利用者の回答を比較したところ、HIV 感染予防行動に有意な差はみられなかったが、コミュニティセンターakta の認知や啓発資料の認知、Web サイトの認知、友達や知り合いに HIV に感染している人がいる、コミュニティに関する安心感や愛着といったコミュニティ感覚に有意差が見られた。

表1. 属性と検査受検経験(介入群別集計)

	介入実施店舗 (n=116)		介入未実施店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
年齢(5歳階級)							0.175
24歳以下	42	(36.2%)	16	(50.0%)	58	(39.2%)	「29歳以下」と「30歳以上」を比較
25-29歳	30	(25.9%)	8	(25.0%)	38	(25.7%)	
30-34歳	22	(19.0%)	4	(12.5%)	26	(17.6%)	
35-39歳	7	(6.0%)	3	(9.4%)	10	(6.8%)	
40歳以上	15	(12.9%)	1	(3.1%)	16	(10.8%)	
あなたはここ2,3か月の間にどの程度新宿二丁目を訪れましたか。							0.172
月1回以下	28	(24.1%)	11	(34.4%)	39	(26.4%)	「一週間に1回以上」とそれ以外を比較
2,3週間に1回程度	18	(15.5%)	6	(18.8%)	24	(16.2%)	
1週間に1回程度	38	(32.8%)	8	(25.0%)	46	(31.1%)	
1週間に2回以上	32	(27.6%)	7	(21.9%)	39	(26.4%)	
過去6か月以内に利用した施設(複数回答)							
バー(男性限定)	106	(91.4%)	23	(71.9%)	129	(87.2%)	0.003
クラブ(男性限定)	49	(42.2%)	8	(25.0%)	57	(38.5%)	0.076
ゲイショップ	50	(43.1%)	10	(31.3%)	60	(40.5%)	0.227
出会い系サイト	31	(26.7%)	6	(18.8%)	37	(25.0%)	0.356
エロ系SNS	18	(15.5%)	6	(18.8%)	24	(16.2%)	0.660
ゲイ向け出会いアプリ	82	(70.7%)	24	(75.0%)	106	(71.6%)	0.632
FacebookやTwitter等のSNS	75	(64.7%)	17	(53.1%)	92	(62.2%)	0.234
ゲイ向けサークル	15	(12.9%)	1	(3.1%)	16	(10.8%)	0.114
ゲイ向け合コン	12	(10.3%)	2	(6.3%)	14	(9.5%)	0.483
ゲイの乱パ	9	(7.8%)	1	(3.1%)	10	(6.8%)	0.355
有料のハッテン場	38	(32.8%)	8	(25.0%)	46	(31.1%)	0.401
ゲイが集まることで有名な銭湯・プールなどの施設	25	(21.6%)	7	(21.9%)	32	(21.6%)	0.969
野外のハッテン場	13	(11.2%)	0	(0.0%)	13	(8.8%)	0.047
いずれもない	2	(1.7%)	0	(0.0%)	2	(1.4%)	
過去6か月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？							0.782
ある	72	(62.1%)	19	(59.4%)	91	(61.5%)	「ある」とそれ以外を比較
ない	41	(35.3%)	12	(37.5%)	53	(35.8%)	
友達や知り合いいない	3	(2.6%)	1	(3.1%)	4	(2.7%)	
過去6か月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？							0.568
ある	35	(30.2%)	8	(25.0%)	43	(29.1%)	「ある」とそれ以外を比較
ない	41	(35.3%)	14	(43.8%)	55	(37.2%)	
彼氏恋人いない	40	(34.5%)	10	(31.3%)	50	(33.8%)	
あなたの友達や知り合いにHIV(エイズ)に感染している人はいると思いますか？							0.005
いる	68	(58.6%)	8	(25.0%)	76	(51.4%)	「いる+いると思う」とそれ以外を比較
いると思う	14	(12.1%)	6	(18.8%)	20	(13.5%)	
いないと思う	17	(14.7%)	9	(28.1%)	26	(17.6%)	
いない	3	(2.6%)	2	(6.3%)	5	(3.4%)	
わからない	14	(12.1%)	7	(21.9%)	21	(14.2%)	
あなたはこれまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？							0.134
ある	91	(78.4%)	21	(65.6%)	112	(75.7%)	
ない	25	(21.6%)	11	(34.4%)	36	(24.3%)	
過去1年間の受検経験							0.357
過去1年間に受検あり	65	(56.0%)	15	(46.9%)	80	(54.1%)	「過去1年間に受検あり」とそれ以外を比較
受検せず	45	(38.8%)	14	(43.8%)	59	(39.9%)	
1年以上前に陽性を確認	6	(5.2%)	3	(9.4%)	9	(6.1%)	
過去1年の受検経験がある人のうち受検した場所(複数回答)							
南新宿検査相談所	17	(26.2%)	1	(6.7%)	18	(22.5%)	0.103
保健所	30	(46.2%)	11	(73.3%)	41	(51.3%)	0.058
臨時検査	10	(15.4%)	0	(0.0%)	10	(12.5%)	0.104
病院や診療所	18	(27.7%)	2	(13.3%)	20	(25.0%)	0.247
郵送検査	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
その他	1	(1.5%)	2	(13.3%)	3	(3.8%)	0.030

表2. HIV感染予防行動

	介入実施店舗 (n=116)		介入未実施店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？							0.598
ある	115	(99.1%)	32	(100.0%)	147	(99.3%)	
ない	1	(0.9%)	0	(0.0%)	1	(0.7%)	
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？							0.929
ある	112	(96.6%)	31	(96.9%)	143	(96.6%)	
ない	4	(3.4%)	1	(3.1%)	5	(3.4%)	
過去6か月間に、コンドームを買ったことがありますか？*							0.006
ある	45	(40.2%)	21	(67.7%)	66	(44.6%)	
ない	67	(59.8%)	10	(32.3%)	77	(52.0%)	
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか？*							0.195
過去6か月以内	77	(68.8%)	25	(80.6%)	102	(68.9%)	「過去6か月以内」とそれ以外を比較
1年以内	12	(10.7%)	3	(9.7%)	15	(10.1%)	
1年以上前	19	(17.0%)	3	(9.7%)	22	(14.9%)	
覚えていない	4	(3.6%)	0	(0.0%)	4	(2.7%)	
そのときの相手は次のうちどれにあてはまりますか？*							0.227
彼氏や恋人	34	(30.4%)	6	(19.4%)	40	(27.0%)	「彼氏や恋人」とそれ以外を比較
友達やセクフレ	41	(36.6%)	14	(45.2%)	55	(37.2%)	
その場限りの相手	37	(33.0%)	11	(35.5%)	48	(32.4%)	
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
そのときのアナルセックスのポジションはどれをしましたか？*							
タチ	33	(29.5%)	6	(19.4%)	39	(26.4%)	
ウケ	48	(42.9%)	11	(35.5%)	59	(39.9%)	
タチウケ両方	29	(25.9%)	14	(45.2%)	43	(29.1%)	
覚えていない	2	(1.8%)	0	(0.0%)	2	(1.4%)	
一番最近のセックスをする前に、あなたはコンドームを使いたいと思っていましたか？*							0.466
はい	66	(58.9%)	16	(51.6%)	82	(55.4%)	「はい」とそれ以外を比較
いいえ	20	(17.9%)	6	(19.4%)	26	(17.6%)	
相手次第	18	(16.1%)	5	(16.1%)	23	(15.5%)	
特に考えていなかった	8	(7.1%)	2	(6.5%)	10	(6.8%)	
わからない	0	(0.0%)	2	(6.5%)	2	(1.4%)	
一番最近の相手とコンドームの使用についての意思を確認しましたか？*							0.172
はい	66	(58.9%)	14	(45.2%)	80	(54.1%)	「はい」とそれ以外を比較
いいえ	39	(34.8%)	15	(48.4%)	54	(36.5%)	
わからない	7	(6.3%)	2	(6.5%)	9	(6.1%)	
一番最近のアナルセックスで、コンドームを使いましたか？*							0.496
使った	69	(61.6%)	17	(54.8%)	86	(58.1%)	「使った」とそれ以外を比較
使わなかった	37	(33.0%)	13	(41.9%)	50	(33.8%)	
覚えていない	6	(5.4%)	1	(3.2%)	7	(4.7%)	
一番最近の相手がHIV(エイズ)に感染しているか、セックスする前に知っていましたか？*							0.227
知っていた	34	(30.4%)	6	(19.4%)	40	(27.0%)	「知っていた」とそれ以外を比較
知らなかった	38	(33.9%)	10	(32.3%)	48	(32.4%)	
わからない	40	(35.7%)	15	(48.4%)	55	(37.2%)	
海外の旅行先で、コンドームを使わないアナルセックスをしたことはありますか？*							0.508
はい	7	(6.3%)	3	(9.7%)	10	(6.8%)	「はい」とそれ以外を比較
いいえ	99	(88.4%)	21	(67.7%)	120	(81.1%)	
わからない	6	(5.4%)	7	(22.6%)	13	(8.8%)	
国内や海外の旅行先でセックス相手と出会うために使用したものはありますか？*(複数回答)							
1 バー(男性限定)	43	(38.4%)	9	(29.0%)	52	(35.1%)	0.348
2 クラブ(男性限定)	29	(25.9%)	2	(6.5%)	31	(20.9%)	0.021
3 出会い系サイト	24	(21.4%)	3	(9.7%)	27	(18.2%)	0.142
4 エロ系SNS(HuGs や男子寮など)	18	(16.1%)	1	(3.2%)	19	(12.8%)	0.064
5 ゲイ向けアプリ	68	(60.7%)	16	(51.6%)	84	(56.8%)	0.384
6 FacebookやTwitter等のSNS	28	(25.0%)	6	(19.4%)	34	(23.0%)	0.521
7 有料のハッテン場	31	(27.7%)	3	(9.7%)	34	(23.0%)	0.039
8 ゲイが集まる銭湯・プールなどの施設	15	(13.4%)	1	(3.2%)	16	(10.8%)	0.114
9 野外のハッテン場	7	(6.3%)	1	(3.2%)	8	(5.4%)	0.519
10 いずれもない	24	(21.4%)	10	(32.3%)	34	(23.0%)	0.209

*分母は生涯の男性とのアナルセックスの経験者

表3. CBO活動の認知

	介入実施 店舗 (n=116)		介入未実施 店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店 舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
新宿2丁目にある「コミュニティセンターakta」という場所を、知っていますか？							<0.001
知っている、行ったことがある	61	(52.6%)	5	(15.6%)	66	(44.6%)	行ったことがあるとそれ以外 を比較
知っている、行ってみたい	12	(10.3%)	4	(12.5%)	16	(10.8%)	
知っているが、行ってみようと思わない	13	(11.2%)	4	(12.5%)	17	(11.5%)	
名前は聞いたことがあるが、何か知らない	14	(12.1%)	6	(18.8%)	20	(13.5%)	
知らない	16	(13.8%)	13	(40.6%)	29	(19.6%)	
aktaが作っているヤローページを読んだことがありますか？							
読んだことがあります今後読みたい	39	(33.6%)	3	(9.4%)	42	(28.4%)	
読んだことがあります、見かけたら読む	25	(21.6%)	4	(12.5%)	29	(19.6%)	
読んだことがあるが、今後読もうとは思わない	3	(2.6%)	2	(6.3%)	5	(3.4%)	
見かけたことはあるが読んだことはない	16	(13.8%)	4	(12.5%)	20	(13.5%)	
知らない	33	(28.4%)	19	(59.4%)	52	(35.1%)	
aktaのキャンペーン (Safersexキャンペーンのロゴ) を見たことがありますか？							<0.001
見たことがある	62	(53.4%)	6	(18.8%)	68	(45.9%)	
見たことがない	54	(46.6%)	26	(81.3%)	80	(54.1%)	
aktaが発行しているフリーペーパーakta monthly paperを読んだことがありますか？							
読んだことがあります今後読みたい	49	(42.2%)	4	(12.5%)	53	(35.8%)	
読んだことがあります、見かけたら読む	26	(22.4%)	2	(6.3%)	28	(18.9%)	
読んだことがあるが、今後読もうとは思わない	1	(0.9%)	1	(3.1%)	2	(1.4%)	
見かけたことはあるが読んだことはない	18	(15.5%)	4	(12.5%)	22	(14.9%)	
知らない	22	(19.0%)	21	(65.6%)	43	(29.1%)	
新宿2丁目でコンドームなどを配布しているデリバリーボーイズを見かけたことがありますか？							
参加したことがある	16	(13.8%)	2	(6.3%)	18	(12.2%)	
見かけたことがある	71	(61.2%)	11	(34.4%)	82	(55.4%)	
見たことがない	16	(13.8%)	5	(15.6%)	21	(14.2%)	
知らない	13	(11.2%)	14	(43.8%)	27	(18.2%)	
aktaが運営している下のWEBサイトをみたことがありますか？							0.009
見たことがある	59	(50.9%)	8	(25.0%)	67	(45.3%)	
見たことがない	57	(49.1%)	24	(75.0%)	81	(54.7%)	

表4. コミュニティにおけるCBO活動の受け入れ(介入群別集計)

	介入実施 店舗 (n=116)		介入未実施 店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店 舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。							0.357
そう思う	45	(38.8%)	11	(34.4%)	56	(37.8%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	20	(17.2%)	4	(12.5%)	24	(16.2%)	
どちらともいえない	15	(12.9%)	2	(6.3%)	17	(11.5%)	
あまりそう思わない	14	(12.1%)	0	(0.0%)	14	(9.5%)	
そう思わない	6	(5.2%)	2	(6.3%)	8	(5.4%)	
aktaの活動を知らない	16	(13.8%)	13	(40.6%)	29	(19.6%)	
aktaのメッセージは、自分への(私への)メッセージだと感じる。							0.347
そう思う	27	(23.3%)	6	(18.8%)	33	(22.3%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	31	(26.7%)	7	(21.9%)	38	(25.7%)	
どちらともいえない	23	(19.8%)	4	(12.5%)	27	(18.2%)	
あまりそう思わない	11	(9.5%)	0	(0.0%)	11	(7.4%)	
そう思わない	4	(3.4%)	2	(6.3%)	6	(4.1%)	
aktaの活動を知らない	20	(17.2%)	13	(40.6%)	33	(22.3%)	
aktaからのメッセージは、HIVや性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。							0.217
そう思う	32	(27.6%)	7	(21.9%)	39	(26.4%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	33	(28.4%)	7	(21.9%)	40	(27.0%)	
どちらともいえない	22	(19.0%)	2	(6.3%)	24	(16.2%)	
あまりそう思わない	8	(6.9%)	1	(3.1%)	9	(6.1%)	
そう思わない	1	(0.9%)	2	(6.3%)	3	(2.0%)	
aktaの活動を知らない	20	(17.2%)	13	(40.6%)	33	(22.3%)	
aktaは、新宿二丁目の雰囲気や溶け込んだ活動をしていると思う。							0.011
そう思う	42	(36.2%)	7	(21.9%)	49	(33.1%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	34	(29.3%)	6	(18.8%)	40	(27.0%)	
どちらともいえない	17	(14.7%)	5	(15.6%)	22	(14.9%)	
あまりそう思わない	3	(2.6%)	0	(0.0%)	3	(2.0%)	
そう思わない	0	(0.0%)	2	(6.3%)	2	(1.4%)	
aktaの活動を知らない	20	(17.2%)	12	(37.5%)	32	(21.6%)	
aktaの活動に共感する。							0.157
そう思う	45	(38.8%)	8	(25.0%)	53	(35.8%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	29	(25.0%)	8	(25.0%)	37	(25.0%)	
どちらともいえない	20	(17.2%)	1	(3.1%)	21	(14.2%)	
あまりそう思わない	4	(3.4%)	1	(3.1%)	5	(3.4%)	
そう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
aktaの活動を知らない	18	(15.5%)	14	(43.8%)	32	(21.6%)	

表5. コミュニティ感覚に関する項目(介入別集計)

	介入実施 店舗 (n=116)		介入未実施 店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店 舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
新宿二丁目にいると、安心感のようなものを感じる。							0.038
そう思う	46	(39.7%)	9	(28.1%)	55	(37.2%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外
ややそう思う	38	(32.8%)	8	(25.0%)	46	(31.1%)	
どちらともいえない	24	(20.7%)	4	(12.5%)	28	(18.9%)	
あまりそう思わない	6	(5.2%)	2	(6.3%)	8	(5.4%)	
そう思わない	2	(1.7%)	9	(28.1%)	11	(7.4%)	
新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。							0.020
そう思う	31	(26.7%)	10	(31.3%)	41	(27.7%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外
ややそう思う	46	(39.7%)	4	(12.5%)	50	(33.8%)	
どちらともいえない	26	(22.4%)	5	(15.6%)	31	(20.9%)	
あまりそう思わない	9	(7.8%)	2	(6.3%)	11	(7.4%)	
そう思わない	4	(3.4%)	11	(34.4%)	15	(10.1%)	
新宿二丁目でしか得られないものがあると思う。							<0.001
そう思う	67	(57.8%)	13	(40.6%)	80	(54.1%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外
ややそう思う	33	(28.4%)	4	(12.5%)	37	(25.0%)	
どちらともいえない	7	(6.0%)	5	(15.6%)	12	(8.1%)	
あまりそう思わない	5	(4.3%)	2	(6.3%)	7	(4.7%)	
そう思わない	4	(3.4%)	8	(25.0%)	12	(8.1%)	
新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。							0.168
そう思う	35	(30.2%)	9	(28.1%)	44	(29.7%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	42	(36.2%)	8	(25.0%)	50	(33.8%)	
どちらともいえない	23	(19.8%)	9	(28.1%)	32	(21.6%)	
あまりそう思わない	9	(7.8%)	5	(15.6%)	14	(9.5%)	
そう思わない	7	(6.0%)	1	(3.1%)	8	(5.4%)	
新宿二丁目のHIV(エイズ)や性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。							0.273
そう思う	29	(25.0%)	6	(18.8%)	35	(23.6%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	38	(32.8%)	9	(28.1%)	47	(31.8%)	
どちらともいえない	29	(25.0%)	12	(37.5%)	41	(27.7%)	
あまりそう思わない	9	(7.8%)	4	(12.5%)	13	(8.8%)	
そう思わない	11	(9.5%)	1	(3.1%)	12	(8.1%)	
新宿二丁目では、HIV(エイズ)について話をするに、タブー感(ためらい)がある。							0.462
そう思う	13	(11.2%)	9	(28.1%)	22	(14.9%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	26	(22.4%)	4	(12.5%)	30	(20.3%)	
どちらともいえない	28	(24.1%)	7	(21.9%)	35	(23.6%)	
あまりそう思わない	25	(21.6%)	5	(15.6%)	30	(20.3%)	
そう思わない	24	(20.7%)	7	(21.9%)	31	(20.9%)	
新宿二丁目にHIV(エイズ)や性感染症の予防活動は必要だと思う。							0.404
そう思う	83	(71.6%)	20	(62.5%)	103	(69.6%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	18	(15.5%)	6	(18.8%)	24	(16.2%)	
どちらともいえない	8	(6.9%)	6	(18.8%)	14	(9.5%)	
あまりそう思わない	4	(3.4%)	0	(0.0%)	4	(2.7%)	
そう思わない	3	(2.6%)	0	(0.0%)	3	(2.0%)	